

## 2 循環経済分野の取組の方向

循環型社会<sup>\*</sup>の形成を目指して4R<sup>\*</sup>(Refuse: 発生抑制、Reduce: 減量、Reuse: 再利用、Recycle: 再生利用)を推進するとともに、廃プラスチック対策、食品ロス対策を推進します。

### 《基本目標 2》

4R を推進し、資源を無駄なく利活用するまち

関連する SDGs



### (1) 市民アンケートに見る方向性

2023(令和5)年度に実施した市民アンケートから循環経済分野における現状と課題が見えてきました。そこから本市が取り組む方向性として「廃棄物の発生を抑え、資源を循環利用する」を基本方針とします。

この基本方針のもとに掲げる施策の展開を見ていく前に、市民アンケートの質問・回答内容を振り返っていきます。



食品ロス対策(フードドライブの様子)

ごみの減量・資源化など循環型社会<sup>※</sup>の形成に向けて、重点的に進めるべき取組を選択してもらった結果、図11のような回答となりました。

回答の多いものから、「ごみの分別徹底と資源化促進」「ごみ回収・資源回収の効率化」「ごみ処理施設の整備・管理」「4R<sup>※</sup>(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)の普及と促進」の順となっています。

ごみの分別徹底と資源化促進の意識が高く、効果的な取組の実施が求められます。

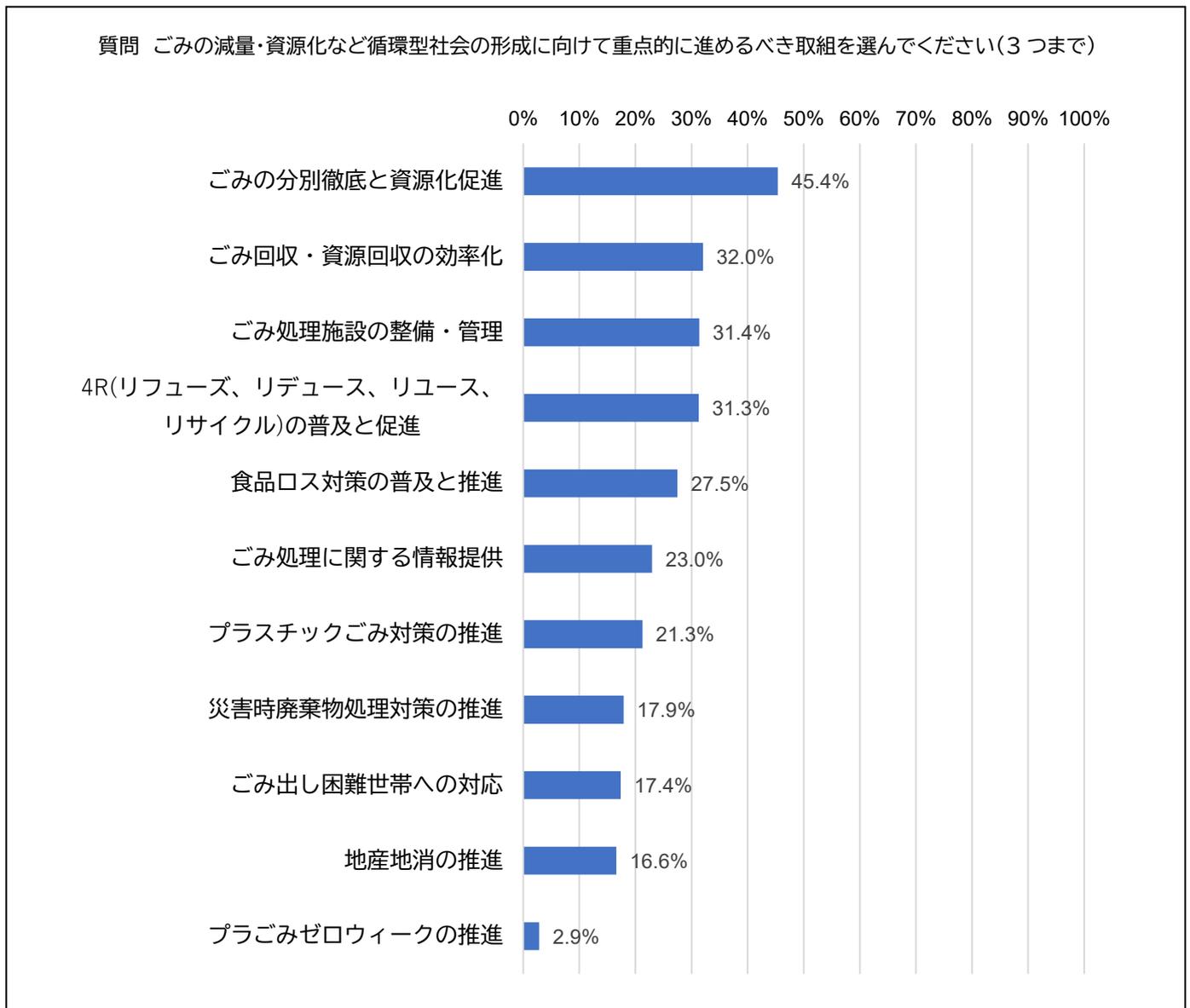


図11 市民アンケート結果

## (2) 施策の展開

ここでは、循環経済分野の基本目標 2「4Rを推進し、資源を無駄なく利活用するまち」の実現に向けて、市民アンケートの結果から基本方針、その方針に基づく基本施策とそれらを具体化する取組の方向性を示しています。

### 基本方針 2-1 廃棄物の発生を抑え、資源を循環利用する

ごみ処理に伴う費用や環境負荷<sup>※</sup>のみならず、気候変動<sup>※</sup>や生物多様性<sup>※</sup>の喪失、環境汚染といった地球環境問題にもつながっている資源の大量消費と大量廃棄について、資源を循環利用し廃棄を減らすとともに新たな付加価値の創出を図る循環経済(サーキュラーエコノミー)<sup>※</sup>への移行が求められています。前計画の中でも、廃棄物の発生の抑制、資源の循環利用に取り組んだ結果、ごみの排出量の減少など一定の成果をあげてきました。

本計画においても、循環経済(サーキュラーエコノミー)<sup>※</sup>の一環となり、循環型社会<sup>※</sup>形成につながる「4R<sup>※</sup>の推進」「廃プラスチック対策の推進」「食品ロス対策の推進」の3つの基本施策について、市・市民・事業者がそれぞれの取組を推進することで基本方針の実現を図ります。

《基本施策 2-1-1》 4Rの推進	
主体	主な取組
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 4R<sup>※</sup>の啓発活動を推進する。</li> <li>◆ 可燃ごみの減量化を推進する。</li> <li>◆ 資源物の集団回収を促進する。</li> <li>◆ 使用済み食品容器等の店頭回収を促進する。</li> </ul>
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ ごみ出しのルールを守り、分別を正しく行う。</li> <li>◇ 中古品・再生品を活用する。</li> <li>◇ 代替フロン類<sup>※</sup>が使用されている家電を廃棄する際は、購入店や県の登録業者に依頼し適切に処理する。</li> <li>◇ 生ごみを自家処理する。</li> </ul>
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 資源の分別や回収ルールの徹底など、廃棄物処理を正しく行う。</li> <li>• 再生資源利用製品について関心を持ち、事業活動に取り入れる。</li> <li>• 代替フロン類<sup>※</sup>が使用されている機器の点検・管理による漏えい防止に努め、廃棄の際には適切な回収・処理を行う。</li> <li>• 事業活動から発生する生ごみの資源化や適正処理を行う。</li> </ul>

## 《基本施策 2-1-2》 廃プラスチック対策の推進

主体	主な取組
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 廃プラスチックの資源化を図る。</li> <li>◆ プラスチック・スマート※(Plastics Smart)を推進する。</li> </ul>
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ プラスチックごみ問題の現状を知り、プラスチックごみを減らすように努める。</li> <li>◇ プラスチック製容器包装の分別を適切に行い、資源の確実な回収につなげる。</li> <li>◇ マイバッグ・マイボトルを活用する。</li> </ul>
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プラスチック製容器包装の削減に向けて取り組む。</li> <li>• バイオプラスチック※などの代替素材に関心を持ち、事業活動に取り入れる。</li> </ul>

## 《基本施策 2-1-3》 食品ロス対策の推進

主体	主な取組
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 食品ロス削減の啓発活動を推進する。</li> <li>◆ 余った食品を集めて福祉等で活用するフードドライブ※・フードバンク※を促進する。</li> </ul>
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 食品ロス問題の現状を知り、食品ロスを減らすように努める。</li> <li>◇ 食品を無駄に買わないよう心がけ、買ったものは使い切り、食べきるようにする。</li> <li>◇ フードドライブ※などの取組に協力する。</li> </ul>
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 食品廃棄物の削減に向けて取り組む。</li> <li>• フードバンク※などの食品有効利用に向けた取組に協力する。</li> </ul>